

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公開番号】特開 2020-43977 (P2020-43977A)
 【公開日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-012
 【出願番号】特願 2018-173588 (P2018-173588)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件の成立に基づき図柄を変動表示し、前記図柄が予め定められた特定図柄で停止表示すると、遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、

前記図柄の変動表示中に、表示手段で複数列の演出図柄での変動演出を実行するように制御可能な演出制御手段、を備え、

前記演出制御手段は、

前記図柄の変動表示中に、複数列の全てにおいて前記演出図柄が認識可能な認識可能表示態様を実行可能な第 1 時間と、

複数列の全てにおいて前記演出図柄が停止表示される停止表示態様として、前記複数列のそれぞれにおいて異なる前記演出図柄で停止表示される第 1 状態と、前記複数列のうち 2 つが共通する前記演出図柄で停止表示される第 2 状態と、を実行可能な第 2 時間と、により停止演出を実行可能であり、

前記停止表示態様が前記第 2 状態となる場合は、前記第 1 状態となる場合に比べて、前記認識可能表示態様の実行前に期待度を向上させる所定の演出が実行され易くなるように制御可能であり、

前記第 1 時間中の前記停止演出としては、前記第 1 状態となる場合は、所定の態様の第 1 演出を実行可能であり、前記第 2 状態となる場合は、前記第 1 演出と前記第 1 演出とは異なる態様の第 2 演出とを実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

[適用例 1]

上記課題を解決するため、本願の適用例 1 の遊技機は、始動条件の成立に基づき図柄（特殊図柄 T Z）を変動表示し、前記図柄が予め定められた特定図柄で停止表示すると、遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、前記図柄の変動表示中に、表示手段（第 1 画像表示装置 7 0）で複数列の演出図柄（演出図柄 7 0 a）での変動演出を実行す

るように制御可能な演出制御手段（演出制御基板 130）、を備え、前記演出制御手段は、前記図柄の変動表示中に、複数列の全てにおいて前記演出図柄が認識可能な認識可能表示態様（変動終了示唆演出、図 5 1 - 1、図 5 1 - 2、図 5 4 - 1 ~ 図 5 4 - 7）を実行可能な第 1 時間と、複数列の全てにおいて前記演出図柄が停止表示される停止表示態様（第 2 表示態様）として、前記複数列のそれぞれにおいて異なる前記演出図柄で停止表示される第 1 状態（非リーチハズレ示唆態様、変動パターン 1 A ~ 1 C）と、前記複数列のうち 2 つが共通する前記演出図柄で停止表示される第 2 状態（リーチハズレ示唆態様、変動パターン 2 A ~ 3 C）と、を実行可能な第 2 時間と、により停止演出を実行可能であり、前記停止表示態様が前記第 2 状態となる場合は、前記第 1 状態となる場合に比べて、前記認識可能表示態様の実行前に期待度を向上させる所定の演出（擬似連演出）が実行され易くなるように制御可能であり、前記第 1 時間中の前記停止演出としては、前記第 1 状態となる場合は、所定の態様の第 1 演出（変動終了示唆演出、図 5 1 - 1、図 5 4 - 3（a）、図 5 4 - 7（a））を実行可能であり、前記第 2 状態となる場合は、前記第 1 演出と前記第 1 演出とは異なる態様の第 2 演出（変動終了示唆演出、図 5 1 - 2、図 5 4 - 2、図 5 4 - 3（b）、図 5 4 - 7（b））とを実行可能であることを要旨とする。